

11305その他の精密機械器具製造業における死傷災害100事例まで（2019年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物 (小)	労働者規模
1	2019	1	17 ～ 18	変圧器タンク上部で作業中、左手で掴んでいた配管用金具が外れて、バランスを崩し、転落しそうになった。とっさにタンク上から飛び降り、定盤の上に着地したが、その衝撃により両足の踵を骨折した。	50	1	418	10～ 29
2	2019	1	14 ～ 15	組み立て工場内で、高さ約1mのステップに上がって溶接作業を行いステップから下りる際、左腕がフレームとシャフトの隙間に挟まって足が底面につかず、全体重が左上腕部に掛かって骨折した。	59	7	169	30～ 49
3	2019	1	16 ～ 17	出張に必要な書類を受けとるため大使館に行ったとき、門を通る際に段差につまずき、フェンスに額をぶつけ、唇に挫創を負った。	61	2	417	30～ 49
4	2019	1	18 ～ 19	会社のトラック停車場にて荷物の積み降ろし中に、荷台から足を踏み外してトラックと社屋との隙間に落ち、左足首を骨折した。	51	1	221	30～ 49
5	2019	2	20 ～ 21	本社4階で部屋の戸締まりの最中に、真っ暗な状態で部屋のブレーカーを落とそうとブレーカーのところに向かい、ブレーカーを落として振り返ったあと、左膝にぶつかったような衝撃と激痛が起こりそのまま前に倒れ、左外傷性膝蓋骨脱臼を負った。	32	19	921	50～ 99
6	2019	2	11 ～	工場の堤防道路の停車帯に、トラックを止めて廃棄物を積載中に、トラックにシートを被せる作業をしていた。その際、シートに付いているゴム紐を手でトラックの金具に引っ掛けようとした	64	1	416	100 ～

			12	とき、ゴム紐が切れ、2mほど下の地面に転落し、腰椎を骨折した。					299
7	2019	2	4 ～ 5	移動中、運搬していた台車のキャスターが1輪外れたため、支えた右手首を捻挫した。	45	19	611	～ 499	
8	2019	2	16 ～ 17	シャフトブッシュ圧入機上で、ディスクグラインダーを使用しシャフトのバリスリをしていたとき、ワークが落ちそうになり左手で支えたときに左手首に裂傷を負い、更にワークが落下時ディスクグラインダーがワークに押され左足腿に裂傷を負った。	63	8	612	10～ 29	
9	2019	2	16 ～ 17	検査済品台車を取りに行く途中に転倒し、右肋骨を打撲し、右腕を骨折した。	61	2	921	100 ～ 299	
10	2019	2	17 ～ 18	工場内でプレス機を使ってワッシャを生産していた。クレーンで材料を吊って移動した際、ベルトスリングが外れてコイル材が倒れ、右足甲を骨折した。	27	6	211	50～ 99	
11	2019	3	13 ～ 14	工場内で階段を下りる際、よそ見をしたため足を踏み外し、左足関節を捻挫した。	48	1	413	50～ 99	
12	2019	3	11 ～ 12	工場ではボール盤加工をするために加工材料を持ち上げて移動する際に、体勢を崩して腰をひねり、腰椎圧迫骨折となった。	68	19	611	10～ 29	
13	2019	3	14 ～ 15	派遣先の構内で、受領物（1.2t）の半製品をハンドリフトで運搬中に、緩やかな傾斜で足がもつれ転倒したところに、ハンドリフトのローラー部が左足先に乗り上げ、左足第5趾末節骨を折った。	39	6	362	100 ～ 299	
14	2019	3	8 ～ 9	会社駐車場にて、車から降りる際、路面が凍結しており、足が滑り転倒した。その際、左肩と左腸骨を打撲した。	19	2	417	1000 ～ 9999	

15	2019	3	13 ～ 14	工場内で梱包内の製品を管理している（鉄製）箱から箱に移し替え作業中、移し替え終えた（鉄製）の箱が、片方に集中させ積み上げたことが原因で、バランスを崩し、箱と地面に右足首を挟み負傷した。	42	7	611	100 ～ 299
16	2019	3	14 ～ 15	工場内の研磨室で簡易式の研磨機による切削工具の研磨を行っていたときに、砥石が割れて破片が頭に飛んできて、眼窩底骨折となった。	82	4	153	10～ 29
17	2019	3	16 ～ 17	工場内でフライス盤を使用し金型の穴あけ作業中に、フライス盤の回転の勢いで金型が回ってしまい、右胸を直撃し、肋骨を折った。	75	6	152	1～9
18	2019	3	10 ～ 11	工場内でマシニングセンターの修理作業中、機械の高い部分に上り修理を行い、修理が終わったため下りているとき、機械から足を踏み外し、左足だけで着地した。その際、左足親指を骨折した。	33	1	159	10～ 29
19	2019	4	9 ～ 10	第1工場1階製造部内の作業場で、作業中に猫が迷いこんできて、業務に支障が出たので、数人で猫を捕まえようとしたところ、猫が暴れて逃げたので取り押さえようとした際、両手人差し指と両腕にひっかき傷とかみ傷を負った。	40	8	719	100 ～ 299
20	2019	4	8 ～ 9	会社生産課の包装室で、朝の清掃時間に自動機手前のベルトコンベアの動きが悪く、チェーンのグリスアップを行うため、チェーンカバーを外しグリスの塗布作業を行った。グリスを全体に延ばそうとベルトを稼働させ、さらしで塗布しようとした際、チェーンに右手人差し指を巻き込まれ切創を負った。	38	7	169	100 ～ 299
21	2019	5	18 ～ 19	鍛造工場で、鍛造プレスとトリミングプレスの間でコンベアを稼働させた状態で、たわみを確認していた。その際、左手で持っていたモンキー Spana がスプロケットとチェーンの間に巻き込まれ、左手が挟まれた。その際、左手親指と人差し指を骨折した。	37	7	224	100 ～ 299
				ピッキングリフトを使用して運搬作業中、安全帯を外し忘れたま				

22	2019	5	16 ～ 17	ま横並びに停車したピッキングリフトへ乗り換えをし、発進させたため、先のリフトに体が引っ張られ、転落防止の安全バーに腰を強く打ちつけて受傷した。	57	3	222	300 ～ 499
23	2019	5	11 ～ 12	フライスにて作業中、押さえていた材料がバイスから外れて刃物と一緒に回転し、左手親指付け根に当たり骨折した。	69	6	152	10～ 29
24	2019	6	16 ～ 17	工場内で、ガス器具部品が入った箱（1箱当たり約10～15kg）を、下の棚から上の棚に移動させていた際に腰を骨折した。	66	19	921	300 ～ 499
25	2019	6	8 ～ 9	工場内で、パレットに載っていた20kg以上の鉄製品が入った箱を、被災者が1人で持ち上げようとしたところ、重さに耐えきれず、腰椎椎間板ヘルニアを発症した。	43	19	921	1000 ～ 9999
26	2019	6	12 ～ 13	昼食休憩を終え作業場に戻る途中、ツールワゴンの下に敷いてあるブルーシートに付いていた油で滑り転倒し、左手首を捻挫し、背中を打撲した。	51	2	379	10～ 29
27	2019	6	14 ～ 15	床にこぼれた塗料により滑って転びかけ、その際に右腕をひねり右肩を負傷した。また、ロボットによる塗装の付帯作業として、高さ1.5mのハンガーに4.4 kgの製品を1日に300台掛け下ろす作業を約6年間弱行っていた。そのため、長年の蓄積により右肩を痛めていた。	58	19	167	10～ 29
28	2019	7	21 ～ 22	6缶回収装置を製造中に部品の取り付け漏れに気付き、装置の一部（シュート）を取り外し持ち上げたときに、腰に違和感を抱き、脊髄の軟骨が横方向にずれた。	34	19	611	30～ 49
29	2019	7	11 ～ 12	機械と機械の間でクレーンを操作し、6tチタン材料を荷卸ししていたとき、降ろす位置が台座からずれているのに気が付かず、材料を降ろしワイヤーを緩めたところ、材料が被災者のいる一方の機械の方向に倒れたため、機械と材料に左足下腿を挟まれ負傷し	28	7	211	1～9

				た。				
30	2019	8	14 ～ 15	組み立て工場で、機械本体上部に貼られた養生用マスキングテープを剥がした後、踏み台（3段、高さ120cm）を下りる際に誤って転倒し、左手首を骨折した。	42	1	371	1000 ～ 9999
31	2019	8	8 ～ 9	会社の駐輪場にて、バイクを停める際、滑ってバイクの下敷きとなり、右足首を骨折した。	45	2	231	30～ 49
32	2019	8	16 ～ 17	半導体製造装置のチャンバー内配管施工時、内側左側面を施工するため、中腰の状態でもPCチャンバー内に上体を突っ込んで、頭と腰を左にひねりながら作業をした際（力を入れたとき）に腰を痛め、急性腰痛症（ぎっくり腰）となった。	26	19	921	100 ～ 299
33	2019	9	9 ～ 10	客先の会社へ車で向かう途中、事故のため渋滞が発生して停止していたところ、後方から追突されて頸椎を捻挫した。	50	18	231	1～9
34	2019	9	9 ～ 10	本社工場で材料を砕く処理のためにロールミルを使っていた。ロールとロールの間に材料を手で押し込もうとして、過って右手中指と薬指が巻き込まれ、開放骨折および指尖部損傷を負った。	49	7	163	50～ 99
35	2019	9	15 ～ 16	バフの作業中、左手が巻き込まれ骨折した。	39	7	153	10～ 29
36	2019	9	9 ～ 10	工場内で新しい機械の搬入に伴い、機械の前に置いてあった金属の部品が入ったコンテナを機械の後方へ移動させようと中腰で持ち上げた。その際、腰に激痛が走り、腰を負傷した。	31	19	611	30～ 49
37	2019	10	13 ～ 14	超高剥離室で、超高压水を噴射するガンを使用して溶射治具に付いた溶射膜を剥離する作業をしていたとき、水圧で溶射治具が作業台から落下して、手に持っていたガンに接触した。その衝撃でガン先が左足に向いたまま高压水が噴射されて、左足踝を負傷し	44	6	391	50～ 99

				た。				
38	2019	10	14 ～ 15	溶接工場内で、高さ50cm弱の台に載せた鉄板をディスクグラインダーで面取り加工していたところ、足が滑りバランスを崩して鉄板の上に掛けていた左足の大腿部にグラインダーの刃が当たり切創を負った。	61	8	153	1～9
39	2019	10	13 ～ 14	現場で作業中、カット刃交換のため、交換場所へ移動した。カット刃を交換した後、カット刃ホルダーに戻そうとした際、左手人差し指にカット刃が接触し、切創を負った。	35	8	364	100 ～ 299
40	2019	11	11 ～ 12	工場内で機械のボルトを緩める作業中、左手で持ったスパナをボルトに掛け、右手で持った鉄製のハンマーでスパナを勢いよく叩こうとした。そのとき、目測を誤り、左手親指をハンマーで思い切り叩いて骨折した。	30	7	364	10～ 29
41	2019	11	11 ～ 12	作業場内で荷物を移動させる際、両手が塞がった状態で足下の台車につまずき、左足を脱臼した。	59	3	417	100 ～ 299
42	2019	11	11 ～ 12	製品を加工中、機械上で品物を反転しようとして、手が滑り品物に右手の薬指と中指を挟んで骨折した。	38	7	611	1～9
43	2019	11	14 ～ 15	製造部露光ラインにて、機械に材料をセットし金属とフィルムを合わせ圧着作業中、機械操作することに集中しており、右手を機械に置きっぱなしのまま、圧着開始ボタンを押したため、下降してきた蓋に気付かず右手が挟まれ負傷した。	21	7	169	10～ 29
44	2019	11	8 ～ 9	当社工場の2階事務所内を歩行移動中に、10cmほどの段差につまずいて転倒し、咄嗟に右手をついたところ右肩を強打して腱板断裂を負った。	72	2	417	1～9
45	2019	11	20	事業所内にある部品置き場で、作業の段取りについて同僚作業員と話しているとき、同僚が被災者の言動に腹を立て、被災者を後	27	6	719	1000 ～

			21	方から蹴り転倒させた。その際、右腓骨と脛骨を折った。				9999
46	2019	11	12 ～ 13	工場内のNC旋盤の準備作業中に切粉と製品が排出口に挟まったため、機械が停止中と思い込み切粉を取り除こうと機械の中に手を入れてしまい、手の甲が機械に挟まれて、手の平が切れ、人差し指の付け根を骨折した。	61	7	151	10～ 29
47	2019	11	19 ～ 20	工場内にて、マシニング機に重さ30kgの鉄プレートをセッティング、固定する際、何度か持ち上げ下げしているうちに手首をひねった。その後もプレートを持ち続けていたため、左手首を捻挫した。	35	19	521	1～9
48	2019	11	16 ～ 17	災害復旧工事中、チェーンソーで倒木を切断中、木の根元の太い部分が跳ね返り、右足を強打し、右足膝下を骨折した。	62	6	136	1～9
49	2019	12	16 ～ 17	木製パレットの上に置いてある電気ユニット部品（重さ20kg）を移動台車に載せるために持ち上げ、その状態で体を左にひねったが、電気ユニットに付けてあった「転倒防止プレート」を外し忘れていたことに気付き、持ち上げたときの姿勢に戻すために体を右へひねった際、腰部を負傷した。	39	19	921	50～ 99
50	2019	12	14 ～ 15	会社のトイレ掃除をしているとき、床にまいた洗浄剤で滑ってしまい、倒れるのを防ぐため左足を踏ん張ったところ左膝を負傷した。	71	19	529	1～9

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.html](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html)(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例まで（2019年）](#)に戻る。